

チュチェ思想にたいする教育方法について

ニコライ・S・C・アマンド

デンマーク・チュチェ思想研究会会長

チュチェ思想はこの地球上の多くの国に知られています。

偉大な領袖である金日成主席と金正日総書記がチュチェ思想を理論的に発展させた時からチュチェ思想にたいする世界的な関心は非常に高まりました。われわれは今、世界の人民が朝鮮民主主義人民共和国を社会主義の砦として仰ぐ時代に生きており、人民大衆中心の思想的基礎について熱心に学ぼうとしていることを知っています。

しかし、いまだにもチュチェ思想について知らない多くの人は、資本主義の宣伝に騙されており、結局、朝鮮民主主義人民共和国にたいする無知と敵対的な態度から脱せずにはいます。朝鮮民主主義人民共和国にたいする反動的な宣伝に反対して闘い、金日成・金正日主義が人民大衆を啓蒙させるということを教えるべき重要な課題が提起されています。より多くの人々が朝鮮民主主義人民共和国とチュチェ思想に関心を寄せており、まだ成すべきことは多いです。

金正日総書記は著作「革命と建設において主体性と民族性を固守するために」の中で、革命と建設において民族性を固守することの重要性について強調しました。

われわれは民族性の重要性を認めなければなりません。われわれは帝国主義諸国の見解と被搾取諸国の見解でも根本的な差があることを認めなければなりません。また、革命をおこなううえで、われわれが認めるべきことは帝国主義陣営内にもさまざまな二重的な矛盾があるということです。

金日成・金正日主義は反帝闘争と完全な自主性をめざす闘争において被搾取諸国の闘争理論にならなければなりません。

チュチェ思想のような革命学説をもつことが帝国主義諸国で暮らしている大方の人たちには、恣意的でくどくどしいことに思われるかも知りません。

それでわれわれはチュチェの理論をその実践との関係で見なければならず、帝国主義者が喧伝するデマの虚偽性を明らかにしなければなりません。

明白に帝国主義諸国で喧伝するデマを暴露し、朝鮮民主主義人民共和国の現実を知らせなければなりません。チュチェ思想がもたらした驚くべき結果を自分の目で直接見る時にのみ、人々はこの立派な思想を学ぼうという関心をもつようになるでしょう。

チュチェ思想を普及する上でもっとも重要な手段の一つはインターネットです。インターネット時代は数百万の人々が朝鮮民主主義人民共和国の現実を見るようにし、各国のチュチェ思想研究組織の努力によって誰もがチュチェ思想にたいする資料を容易に見ることができています。特に、朝鮮民主主義人民共和国の各公共メディアの資料を通じて、数千名の人々

が社会主義朝鮮について知るようになりました。われわれは公共メディアを積極的に利用しなければならず、記事と写真、動画像の掲載など、多様な形式で朝鮮民主主義人民共和国とチュチェ思想にたいする資料を共有しなければなりません。こうした形式の宣伝活動は人々を金日成・金正日主義で教育する今後の活動において必須の問題として提起されます。

英語を話す人々にチュチェ思想を解説することに多くの手間を掛けてきました。しかし、この思想を大衆がすぐ理解できるようにするための研究も必要だと思います。

金正日総書記はチュチェ思想にたいする教育を通俗的にしなければならないと述べました。われわれはチュチェ思想にたいする教育をより簡潔で分かりやすい方法でおこなわなければなりません。具体的に、長い教材やビデオ、講演より短い教材とビデオ、講演が大衆に適合するというのを認めなければなりません。もちろん、金日成・金正日主義にたいするより長く、より具体化された資料も重視すべきであるが、より短くて複雑でない資料も配合しなければならないということです。

チュチェ思想はわれわれが学ぶべき科学的な世界観と正義の学説を与えます。チュチェ思想にたいする教育では、われわれが話を交わそうとする大衆と彼らの闘争の具体的な現実から出発しなければなりません。

金日成主席の国際主義にたいする見解と全世界の多くの自由闘士にたいする支持をその代表的な例として挙げることができます。

全世界の人民大衆の闘争を支援するようになれば、その過程で人々はチュチェ思想についてもっと知ろうとするでしょう。人々を資本主義世界の秩序から解放する上でこれは必須の問題として提起されます。

例えばわれわれは、意地の汚い地主と腐敗した政治家に反対する人民大衆の闘争を支持しなければなりません。大衆の闘争に注意を払うとき、チュチェ思想にたいする教育はよりスムーズにおこなわれるでしょう。終わりに、チュチェ思想のような科学的な哲学にたいする教育は科学的な方法でおこなわれなければならないと強調したいです。

金正日総書記はチュチェ思想が大衆のための思想であることを肝に銘じ、それにたいする教育を分かりやすくおこなわなければならないと述べました。

科学としての社会主義が出現して思想が人民大衆の生活と闘争の武器になる前まで哲学は、長い間、高級インテリだけの思想となっていました。

われわれは大衆路線を堅持して誰もがすぐ理解できるようにチュチェ思想にたいする宣伝を引き続きおこなわなければなりません。

われわれは人々にチュチェ思想について正しい理解をもたせるために、それぞれの人々に創造的な方法を適用しなければなりません。まさにこれが、チュチェ思想が要求する科学的な教育方法であるのです。